

市長あいさつ

皆さまこんにちは。

今月15日、気象庁から「関東地方で春一番が吹いた」との発表がありました。昨年より14日早い発表ということです。まだまだ寒い日が多いですが、市役所敷地内の河津桜も開花が進んでおり、一步、また一步と春の足音が近づいているように感じます。

さて、今月13日から19日にかけて、姉妹都市協定を締結しているアメリカ合衆国カリフォルニア州ユーバ市から4年ぶりに市民訪問団をお迎えしておりました。

ショーン・ハリス市長やユーバ市姉妹都市協会のスペンサー・モリソン会長など、総勢15名の市民訪問団の皆さまは、滞在期間中、市内のご家庭にホームステイし、日本文化の体験や学校体験、観光などを楽しまれました。受け入れにご協力いただいたホストファミリーの皆さま、取手市姉妹都市協会の皆さま、その他関係する全ての皆さまに心より御礼申し上げます。

それでは、本日の発表事項に移ります。

はじめに、令和6年第1回取手市議会定例会議案についてです。

会期は、2月29日 木曜日からとなります。

定例会に提出する議案は、条例の一部改正が15件、市道路線の認定・変更・廃止が合わせて3件、財産の取得が1件、令和5年度補正予算が7件、令和6年度当初予算が7件、そのほかに教育委員会委員の選任同意が1件、人権擁護委員の推薦が1件の計35件となります。

条例の一部改正は、「取手市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例について」など15件を提案いたします。

続いて、令和5年度補正予算のうち、一般会計補正予算第11号及び第12号についてご説明いたします。

一般会計補正予算第11号の総額は、3億2,460万7千円の増額で、補正後の予算総額は、475億9,552万6千円となります。

内容は、物価高騰への対応として国が実施する給付事業のため、必要な経費を補正するものです。

具体的には、住民税が均等割のみ課税されている世帯に対する1世帯当たり10万円の給付と、低所得者の子育て世帯に対する児童一人当たり5万円の給付になります。

次に、一般会計補正予算第12号の総額は、19億1,553万7千円の増額で、補正後の予算総額は、495億1,106万3千円となります。

歳出予算の主な内容の一つ目は、国の令和5年度補正予算による事業の計上です。令和6年度に計画していた学校施設整備事業と地籍調査事業が、それぞれ国の令和5年度補助事業の対象となる見込みのため、20億7,711万円を3月補正予算に計上し、令和6年度に繰り越して実施いたします。

二つ目は、社会保障関係費の増額です。医療福祉費助成などの経費について、利用件数の増加、人件費の引き上げ、医療扶助費の増加などにより、不足が見込まれることから、1億6,317万7千円を増額いたします。

そのほか、ふるさと取手応援寄附金推進事業で1億5,121万9千円の増額、集中降雨に伴う災害関連経費で4億5,552万1千円の減額を計上

しております。

次に、令和6年度当初予算案についてご説明いたします。

一般会計の当初予算額は、428億4,000万円となります。前年度の当初予算は骨格予算であったため、6月補正後の実質的な予算と比較すると13億5,326万円の増となります。

増額の主な要因は二つございます。

一つ目は、ふるさと納税の推進に伴う事業費及び寄附金の基金積立額が11億6,000万円増えたこと、二つ目は、扶助費などの社会保障関係経費が4億3,000万円増えたことです。

続いて、特別会計の当初予算額は、取手駅西口都市整備事業、国民健康保険事業など6つの特別会計の合計で、268億3,833万円となります。前年度当初予算との比較では3億1,437万円の増となります。

一般会計予算額と、一般会計と特別会計を合わせた予算総額は、いずれも過去最大となります。

令和6年度は、取手市の新たな基本計画である「とりで未来創造プラン2024」の初年度として、計画に描いた未来に向かって飛躍していく節目の年であることから、「快適で利便性の高い都市空間づくり」、「魅力の創造と発信」、「未来をつくる世代を育むまちづくり」、「健康でいきいきとした社会の実現」、「安全安心なまちと未来を見据えた環境整備」、「持続可能な地域社会の構築」の6つを基本方針として、市民生活を守り、取手市のさらなる発展を目指すための予算編成となっております。

主な内容としましては、まず、中心市街地の整備や新市街地の創出に向けた取組みを着実に進めつつ、市の知名度・魅力度の向上から、交流人口、定

住人口の増加に至るまでの一連の施策を拡充します。

次に、子どもに関する施策を総合的に進めるための計画・体制を整えるとともに、学校施設の整備、教育にかかる費用負担の軽減など教育環境の充実にも取り組みます。

また、市民の健康づくり意識の向上、地域における障害者支援体制の強化などを通して、様々な個性を持った方々が、いきいきと過ごせるまちづくりを進めます。

さらに、地球温暖化対策に継続して取り組みつつ、インフラ整備や災害時の対応力強化、行政のデジタル化などの施策により、安全安心で持続可能な地域づくりを進めます。

ふるさと納税についても引き続き力を入れ、各事業の財源にするのと併せて、取手市の名前と特産品を全国に広めていきます。

ほかにも様々な施策を力強く推進し「住み続けるほど好きになるまち」の実現に向け、着実に歩みを進めてまいります。

第1回取手市議会定例会議案の説明は、以上となります。

次に、「令和5年度取手市長賞 美術分野の受賞作品決定」についてです。

市では、東京藝術大学との交流事業の一環として、東京藝術大学卒業・修了作品展の優秀作品の中から毎年2点に取手市長賞を授与しています。

この度、令和5年度の受賞作品を決定いたしました。

一点目は、ふかうみえりか 深海ゆが 絵理香イグズーヴィーイーさんの油画作品「e x u v i a e」、二点目は、おかもとみさと 岡本美里さんの工芸作品「よりどころ」です。

深海さんの油画作品は、3月22日 金曜日から31日 日曜日まで、ア

トレとりで4階 とりでアートギャラリーに展示を予定しております。岡本さんの工芸作品も展示を予定しておりますが、日程や場所につきましては、決まり次第、「広報とりで」や市ホームページなどでお知らせいたします。

いずれも素晴らしい作品でありますので、是非、多くの方に鑑賞していただきたいと思います。

なお、音楽分野の受賞者につきましては、3月上旬に決定する予定です。こちらも決まり次第、「広報とりで」や市ホームページなどでお知らせいたします。

以上で、私からの説明を終わります。